



# withコロナ時代を生き抜く 安心安全なコロナ対策イベント運営

## アキラボーイはPCR検査を行なっております！

イベント開催者様の不安をぬぐうために、アキラボーイはイベントに合わせて定期的に(月2~4回程度)PCR検査を行なっております!

主役としての基本的な役目です。※イベント毎での検査が希望であれば、費用(3千円程度)をご負担頂ければ対応させて頂きます。

### PCR検査よりも普段の過ごし方なども重要です！



ただとても敏感にこのPCR検査を気にする方もいらっしゃいますが、個人的な意見としては、PCR検査よりも、普段の過ごし方の方がとても重要なと思っています。イベント2日前に検査を行っても、2日間で感染リスクのある生活を行っていては、なんの意味にもなくなるのがこのPCR検査です。

なので基本的には、感染していても、または感染者が近くにいても、感染しない対策を行っているか、またそういう日常生活を過ごしているかが最重要であり、それらを日常的に行っているかを信じてもらうしか方法がありません。ただこの信頼を証明することがとても難しいのも現実ですが、私自身は1年半以上PCR検査を受け続けており、また数多く移動も行い、また数多くのイベントをこなしているにも関わらず、常時陰性という事実は、これは運ではなく、感染対策を日常的に行っている結果であり、これはPCR検査を受け続けている私が言える実際に体験している実話です。それを信じてもらうしかありません。

### コロナの陽性ではなく病気のありなしを判別するのがPCR検査です。

また根本的な問題ですが、現在のPCR検査はコロナの陽性を証明するものではない不確実な検査です。

日本の現在のPCR検査の基準値は40~45(コロナウイルス5個程度で陽性と判別)に設定されており、これは世界一と言ってもいいほど高い数値で設定されており、この数値が高いほど、コロナ陽性者が多く出るとされているので、日本では無症状者の感染者が多いのはこれが原因となっています。

またコロナウイルスは風邪ウイルスの仲間でもあり、コロナではない他の風邪ウイルスや別の病気を所有していてもコロナ陽性者と判別されるため、日本では多くコロナ感染者数が水増しされているという現状です。

基本的に33以上の数値(コロナウイルス3000個程度で陽性と判別)に関しては、感染力がなく無症状とされているのですが、現在の日本では偽陽性者が多く感染者数の中に計算されており、多く感染者数が出やすい仕組みとなっています。

これはWHOなどが意図して世界基準を決めていないため、それにしたがっている各国が勝手に自国の都合に合わせたPCR検査基準値を設定をしているという問題があります。

ただそんなPCR検査ですが陰性の場合には、コロナに限らず、病気なしという証明になるので、PCR検査自体には一定の効果と証明力があると考えているので、現時点ではこれがワクチンよりも、安全を証明する一番有効な証明方法だと思っています。



## withコロナ時代を生き抜く 安心安全なコロナ対策イベント運営

### コロナ対策ガイドラインその1「マスク」



#### 演者（アキラボーイ）はマスクが必須！

まずツバが出る人にしっかりとマスクをさせるという事がかなり高い感染リスクの回避になると言えます。まず演者はマスクが必須。

#### ただしマスクは無症状の人がしていても意味はありません。

マスクに関しては、咳が出る人以外はつけても意味がないというのが本来の正しい考え方です。ウイルスを防ぐのは、サージカルマスク（医療用マスク）のみです。ではなぜマスクが必要かというと、無症状という判別自体がその本人にしか判断出来ないからです。「私は元気です！」と言いながらも風邪気味であれば、その証明自体がなんの意味ももたないので、人が多く集まる場所では全員がしておけば無難というだけの話です。

#### 演者としてはマスクが意味がなくても見た目の安心を高めます。

マスクに関しては、ほぼ意味がないと考えていますが、知識不足によってマスクを付けていない事を怖がる方も大勢いるのも事実です。なので見た目の安心感という事もあって、アキラボーイはマスクを付けています。

#### 健康な子供のマスクも基本的に意味はありません。

マスクに関しては、ツバなどを防ぐという効果があるので、黙ってみてる分には必要はないのですが、病気を持っている子が大きく笑う分には、必要だと思います。ただ乳児などはマスクは逆に呼吸障害を起こすためしないほうが良く、距離を置くというのが正解となります。また3歳以下などでもマスクをしてくれないという子供もいると思いますが、強制的にマスクをつけさせるよりは、こちらも距離を取るという対策がよいかと思います。

個人的な思いだけでいうと、子供にマスクというのは、成長過程でもリスクしかないので、あまりさせたくないという思いもあります。酸素不足、二酸化炭素の逆流、真菌感染症、気管支肺炎、歯周病など、健康な人へのマスクのリスクはあげるとキリがありません。※ただし病気持つの子にはマスクの効果があるので疑いがある子には必ずさせて下さい。特に子供は顔の表情を読み取る力を失うと考えられるので、普段マスクをしていなければ、また可能であれば、距離を保つなどの対策でも、良いのではないかと思います。

### コロナ対策ガイドラインその2「複数回公演」

#### クラス毎に行うのがリスク回避に良い！

また幼稚園や保育園、小学校ではすでに三密の状態での生活になっているので、感染確率は、イベント行う行わないどちらにしても関係がないのが現状です。また幼稚園、保育園、小学校などでは、クラスや学年毎に分かれて生活していますので、クラス毎に分けてイベントすれば、幼稚園や保育園内の子供や先生たちにもし感染者がいたとしても全体での感染は防げるとえます。という事で、デジタルショーに関しても、普段1時間のショーですが、15分を3回や4回公演など、細かく分けてご対応もさせて頂きます。公演回数を増やすことで、人数を分散させ、密集 자체も避けるので、2つのリスク回避になります。



## withコロナ時代を生き抜く 安心安全なコロナ対策イベント運営



### コロナ対策ガイドラインその3「距離」

#### 演者（アキラボーア）と子供たちの距離感

1m以内に1分以上一緒にいてはいけないという規定ですが、デジタルショーはもともとプロジェクターを投影するために子供たちとステージまでの距離（※5～6mほど）を取っているので、このあたりは通常通り対応しても問題ありません。

#### 子供たち同士の距離感

基本的に、クラス間、学年間、などでしっかりと距離を取るのが正解となります。  
逆に言うと同じクラス同士では、すでに密に過ごしているので、イベントの時点で距離を取ってあまり意味がないかもしれません。  
ただ念には念をという程度（1m前後）に距離を取って座ると良いかと思います。



### コロナ対策ガイドラインその4「換気」

#### 部屋は窓を開ける！または空気を循環させる！

換気もとても重要なコロナ対策の一つです。  
換気がされている部屋でのエアロゾルの可能性はありません。  
なので換気が出来ていれば、唾の直接感染と接触感染だけを気をつければいいという事です。  
ちなみにデジタルショーのプロジェクター明かりは大変明るいため、窓を開けて多少明るくても対応が出来ます。  
部屋を暗くする必要もなく、逆に窓を開けながらでも、そこまで影響を受けないので対応が出来ます！



## withコロナ時代を生き抜く 安心安全なコロナ対策イベント運営

### コロナ対策ガイドラインその5 「参加型コンテンツ」に関して 参加型はその都度消毒などで対応出来る！



参加型に関しても、接触感染のリスクがありますが、その都度消毒という事で、対応が可能だと思います。

また現在体験や経験などを奪われてしまうような社会情勢が続いているので、なんとか「参加」という体験、経験をしてほしいと思っています。

#### 参加型のコンテンツをやる場合には

今まででは「さわってみようのコーナー」などの全員体験コーナーは、映像スクリーンに触るという事で行なっていましたが、デジタルショーは人の影で動きを分析するシステムなので、スクリーンには触らずに影を使って体験という説明方法で進めています。非接触で対応出来るという事です。ただ一点問題点として、どうしても子供たちの誘導を行うため、また子供たち一人一人と向き合うため、例えばおとなしい子には、面と向かって会話が必要になり、また体を触って誘導をする必要も出てきてしまいます。

一応私自身はPCR検査済みですので、触っても問題ないかと思いますが、私自身がその都度消毒を繰り返せば、問題ないかと考えられます。

また他の解決方法として、先生にフォローに入ってもらうという事です。

もちろん先生の負担が増えてしまいますが、これは仕方ないと考えていますので、ご協力頂けると幸いです。

ただ、かなりの回数消毒をするため、アキラボーイの手荒れなどの問題が発生するため、アキラボーイは手袋をつけ、それを消毒という形で対応すれば接觸に関しては、問題ないので、その様な対応を行っています。

#### また全て非接触の内容への変更にも対応！



子供達と距離を置いた演目で対応

また参加コンテンツをなくし非接觸でのショーにも対応させて頂いております。

ただしデジタルショーの一番の売りの参加型コンテンツになるので、なかなか悩ましいところではあるのですが、デジタルショーのコンテンツ力自体は、とても強いので、見るだけ形でも、十分盛り上がります。

当初コンテンツ力や盛り上がりの低下を心配しましたが、この形で何度か公演をさせて頂き、十分盛り上がる事が実証されました。

※コンテンツは、「アニメ漫才、デジタル空気砲、+もう一つなど」などの2~3つくらいの構成(20~25分程度)となります。

#### デジタル講演会の場合

またデジタル講演会の内容自体は元々、子供たちの接觸があまりないものなので、一番子供達の接觸の可能性がある「さわってみようのコーナー」などの全員体験コーナーを省いて、講演会の方の内容(消費者教育と情報社会についてのテーマ)の方を濃くする形にする事で、子供達同士の接觸も失くした講演内容となるので、コロナ対策としてはいいかと思います。



## withコロナ時代を生き抜く 安心安全なコロナ対策イベント運営



### コロナ対策ガイドラインその6 「消毒」

#### 基本的に消毒を随時しながら公演を行います。

アキラボーアイが公演中、接触など気になった場合に、随時消毒を行いながら公演しています。消毒も接触感染には、とても有効な手段と言えます。

#### また公演前、公演後に手洗いをして頂くのが必須です。

公演前には、清潔を保つため手洗いしてから、子供達は入場して頂くのがよいです。また公演後も同じ様に、手洗いすることが感染対策にはよいのです。基本的に手洗い、うがいという基本的なこともかなり高い感染対策ですので、こちらは実行するのが良いかと思います。

#### 消毒コーナーを設置！徹底的に消毒し衛生を保つ！

手洗いが出来ない環境の場合には、消毒コーナーも入口にこちらで用意させて頂きます。手をかざせば自動で吹き出します。入場時、退出時に消毒をして頂ければ幸いです。

### コロナ対策ガイドラインその7 「着ぐるみ」に関して



#### 着ぐるみは基本的には非対応。。

着ぐるみ演出に関しては、もともと子供達との積極的ふれあいを重視したものなので、こちらは濃厚接触となるため、コロナ禍では残念ながら演目自体削除させて頂いております。

また着ぐるみスタッフ自体の行動管理なども出来ないため、PCR検査をしてもしきれないということもあります。現在は基本的に省く形で対応しています。

どうしても着ぐるみに来てほしいという場合には、距離を取る形で、接触なしという条件で対応させて頂いております。距離をとっての写真撮影自体はOKです!



# withコロナ時代を生き抜く 安心安全なコロナ対策イベント運営

## コロナ禍でのイベント例、実績など

コロナ禍でも数ヶ月間イベントを無事にやり遂げている事が安心なイベントの証拠です！

このコロナ禍のイベントを多く経験出来ることで、より具体的な独自のガイドラインの設定が可能となっており、徹底したコロナ対策によるイベントをお届けすることができます。

また他者と比べても安心を追求することで、大打撃を受けているイベント業界でも数多くのイベントを行なっており、イベント業界の中でも生き残りを果たしています。

### 東京都羽村市の幼稚園イベント事例



### 愛知県江南市こども園イベント事例



### 福井県敦賀市の福井原子力センター「あっとほうむ」でのデジタルスポーツミュージアム（展覧会）イベント実績



### 静岡県藤枝市の小学校PTAでのデジタル講演会イベント事例



### 神奈川県川崎市の幼稚園でのデジタルショーイベント事例



### 大阪府大阪市の近鉄百貨店あべのハルカス（商業施設）でのデジタルスポーツミュージアム（展覧会）イベント実績

